

阿蘇市

スポット
探訪

阿蘇山本堂西巖殿寺奥の院



由緒

阿蘇山西巖殿寺は、神亀3年（726年）インドから来た最栄読師

によって開かれました。最栄読師は、阿蘇山の火口の西の洞窟に自ら刻んだ十一面觀音を安置し、寺を開きました。人々はこれを阿蘇山の西の巖殿の寺と呼びました。これが阿蘇山西巖殿寺という寺の名前の由来です。

この地において、代々火口の静謐（火口がおだやかであること）を祈り千三百年の歴史が経ちます。この建物は、明治二十二年に建てられましたが、幾度もの噴火でも建物は壊れた事はなく、厄除けの御利益があります。古来より縁結びの寺として知られ、恋愛・結婚等の良縁成就の御利益もあらたかです。



【議会広報特別委員会】
委 員 長
副 委 員 長
立 竹 岩 谷 市 園 湯 浅 正 司
石 原 下 崎 原 田 浩 正 文 司
昭 祐 札 利 浩 正 文 司
夫 一 治 浩 正 文 司



園田浩文
広報副委員長

九州北部豪雨災害から3年、今年も台風シーズンの到来となりました。予防的避難のご理解とご協力で、あの様な災害が二度と起らぬないように、願うところです。

議会だより第38号「かるでら」も、広報委員会一同、分かりやすく、見やすい紙面に、心掛け編集致しました。最後までのご愛読をお願致します。

編集後記